

今週のビルマのニュース
2009年8月28日【0933号】

コーカン地区で戦闘？ 難民1万人が中国に

・中国に接するシャン州コーカン地区で、コーカン軍MNDA（1989年に軍政と停戦合意）が親軍政派と反軍政派に分裂した。軍政も派兵し、同地区の首都ラオカイを制圧した。現地のメディアによればMNDAの反軍政派と国軍との間で散発的な衝突が起きている。住民約1万人が中国側に難民として流入した（26日ロイター、28日ブルームバーグほか）。

・ワ州連合軍（UWSA）やカチン独立機構（KIO）などの停戦団体がMNDA（反軍政側）と同盟関係にある。UWSAの拠点を狙ったビルマ国軍の砲弾が国境を越えて中国側に落ち、死傷者が出たとの情報もある（28日シャン・ヘラルド・ニュース）。

【背景】軍政は来年予定の選挙を前に、停戦協定を結んだ武装勢力に対しそれぞれの軍部を国境警備隊に再編し、国軍の指揮下に入れるよう要求している。MNDAに対しては、8月初旬に違法薬物捜索の名目で議長宅に兵士を送るなどし圧力を強めていた。

外務省、親軍政団体の幹部を日本に招待

・軍政の農業灌漑大臣で、軍政の翼賛団体「連邦連帯開発協会」（「連邦団結発展協会」とも。略称はUSDA）の総書記も務めるテーウ少将らが、外務省の招きで20日から来日した。24日には在日ビルマ人団体などが抗議デモを行った（22日朝日ほか）。

・同協会は2003年5月のアウンサンスーチー氏襲撃事件への関与が指摘されたほか、2007年9月のデモ行進の際にも会員がデモ参加者を殴打、逮捕したと報告があった。協会幹部は欧米の制裁対象者となっており、米国やEUに原則として入国できない。

・中曽根外相は25日の記者会見で、テーウ少将の訪問は「偶然この時期になった」、また「連邦連帯開発協会における地位とは、今回お呼びしたのと何ら関係のないこと」と述べた。同日テーウ少将と会談し「来年の総選挙が国際社会から祝福されるため…民主化がすべての関係者が含まれる形で進められることを強く希望する」と伝えた（25日外務省）。

イエトー氏「警備員は握手して入れてくれた」

・5月にビルマの最大都市ラングーン（ヤンゴン）の湖を泳いで湖畔のアウンサンスーチー氏宅を訪れた米国人男性ジョン・イエトー氏が帰国した。ニューズウィークの質問に対し、スーチー氏宅敷地に入

ったとき「AK-47（ライフル）を持った警備員が握手して入れてくれた」と語った。CNNテレビの番組では、スーチー氏は彼の訪問を喜んでいと述べた（22日ニューズウィーク、28日CNN）。

アウンサンスーチー氏が来週にも控訴へ

・イエトー氏を自宅に入れたことを理由に11日に有罪判決を受け、自宅軟禁されているアウンサンスーチー氏は来週にも控訴する予定（27日AP）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか ビルマ軍政に対しアウンサンスーチーさんと全ての政治囚の釈放と民主化勢力との対話を要請するアピール行動（在日ビルマ大使館前、24~28日15~16時）

・宇田有三 ビルマ プチ写真展 13点展示、写真など販売あり。（京都市中京区堺町御池下ル丸木材木町675 フォルムズ烏丸御池102「森の小枝」、8月25日~9月13日11時~19時）（月曜除く）

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会 特別講演会 梶藍子さん「メータオ・クリニック現地活動報告」（阪南大学サテライト（中小企業ベンチャーセンター）、9月6日16時~）

・日本ビルマ救援センター「2009年夏 国境訪問報告会」（クレオ大阪東 研修室2F、9月20日18時~）報告内容：訪問地、各難民キャンプの現状、メータオ・クリニックの活動、BRCJ支援状況、他

・第13回ビルマ市民フォーラム総会・最新のビルマ情勢報告（仮題）報告者 根本敬氏・秋元由紀氏（池袋・ECOとしま8階、9月12日18時~）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165